

令和4年度 首里城扁額製作検討委員会

第1回 委員会資料

10月3日（月） 14:00 - 17:00

【資料5】製作体制（案）

- 5-1. 製作体制の検討
- 5-2. 製作体制（案）

（1）製作体制の検討方針

首里城扁額の製作体制については、昨年度までの検討委員会及び各分野のワーキング部会での検討状況をもとに、以下の3点を踏まえて、製作体制を構築する。

なお、監修者については、昨年度の各分野のワーキング部会に参加されている方とする。

①人材育成を見据えての若手技術者の参画

- ・ 監修者の指導のもと、琉球王国時代を対象とした復元事業等での経験のある製作技術者とともに共同作業することができ、数年かけて文化財保存修復技術の修得を目指す若手技術者の参画を図る。

②技術継承を見据えた製作工程記録等への協力

- ・ 扁額の製作にあたっては、県立芸大の学生や卒業生等を含めた若手技術者等への技術継承に資するよう、試作・手板等の展示、製作工程の一部公開や録画・編集物の公開を行うことを前提とする。

③1枚目製作を踏まえての製作体制の再確認

- ・ 1枚目や試作等における製作工程記録やその利活用方法とともに、2～3枚目の製作体制について、人材育成や技術継承として、より資することができるように再確認する。

(2) 製作技術者の選定について（案）

【首里城扁額製作検討委員会】		【3分野ワーキング】			
・ 検討委員 5 名 ・ 協力委員 7 名	(歴史、 漆芸) (国、 県、 オブザーバー)				
	【文字・落款】 ・ 監修者 1 名	【木工】	【文字彫刻】 ・ 監修者 3 名	【額縁彫刻】	【髹漆】 ・ 監修者 1 名
【製作体制】	・ 技術者 2 名	・ 技術者 1 名	・ 技術者 1 名	・ 技術者 1 名	・ 技術者 1 名
	(若手技術者)	(若手技術者)	(若手技術者)	(若手技術者)	(若手技術者)

・ 各分野の「製作技術者」の選定については、以下のとおりとし、検討委員会で承認する。

- 1) 扁額の前回製作に従事し、かつ直近10年間に扁額と同じ分野の製作業務に従事した者
- 2) 直近10年間に琉球王国文化遺産の復元事業で扁額と同じ分野の製作業務に従事した者
- 3) 上述の1か2を満たす方から推薦を受けた者

・ 若手技術者については、人材育成・技術継承を考慮し、年齢は40代前後を目安に、各分野の監修者や製作技術者から推薦を受けた者を対象とする。

(1) 製作体制一覧（令和4年9月時点）

	種別	内訳	技術者	選定理由	監修者
			(若手技術者)		
文字・落款	題字 御筆・年号	「中山世土」	盛島高行	前回扁額製作時に正殿扁額の書復元の実績あり	盛島高行
		「輯瑞球陽」	幸喜洋人	首里城櫓門扁額、琉球王国文化遺産集積再興事業等で書復元の実績あり	
		「永祚瀛壖」	上間志乃	文化財保存修復技術の修得希望者で監修者の推薦より	
	落款	落款印影	幸喜洋人	首里城櫓門扁額、琉球王国文化遺産集積再興事業等で書復元の実績あり	
木工・彫刻	木工・仕口	額縁ベース 地板 吸付棧等	高良輝幸	琉球王国文化遺産集積再興事業等で木工復元の実績あり	波多野泉 大城直也 岡田靖
	額縁彫刻	雲龍文、 七宝繫文	杉浦誠 (東京藝大学生 等を予定)	琉球王国文化遺産集積再興事業等で木彫復元の実績あり 文化財保存修復技術の修得希望者で監修者の推薦より（沖縄芸大との協力体制を構築予定）	
	文字彫刻 落款等彫刻	題字、作者名、 年号、落款印	仲宗根正廣 安本篤人	琉球王国文化遺産集積再興事業等で木彫復元の実績あり 文化財保存修復技術の修得希望者で製作技術者の推薦より	
髹漆・加飾	髹漆	黄色塗、青塗、 朱塗、黒塗、 墨ふくり帰し塗	諸見由則 (沖縄芸大卒業 生等を予定)	琉球王国文化遺産集積再興事業等で髹漆復元の実績あり 文化財保存修復技術の修得希望者で監修者・製作技術者の推薦より	當眞茂
	加飾	金薄磨（金磨）	宇良英明 (沖縄芸大卒業 生等を予定)	琉球王国文化遺産集積再興事業等で加飾復元の実績あり 文化財保存修復技術の修得希望者で監修者・製作技術者の推薦より	